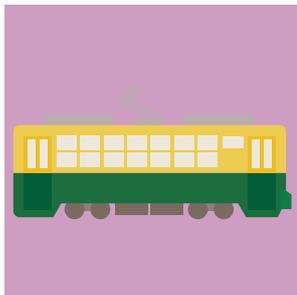
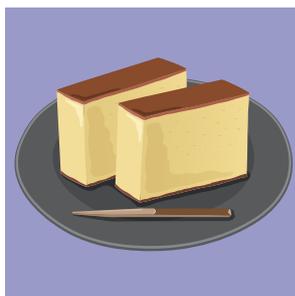
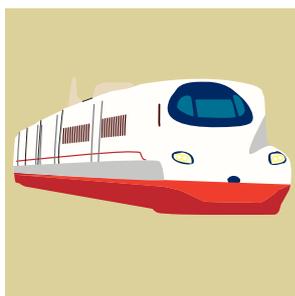
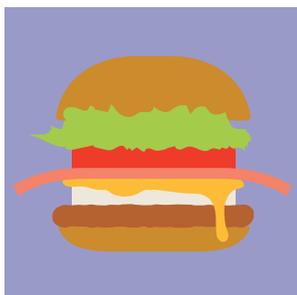


長崎県地域医療継続支援事業に関する アンケート調査

令和5年度
報告書



長崎県地域医療継続支援事業に関するアンケート調査

令和5年度 報告書

ながさき地域医療人材支援センター

目次

1. 調査概要	3
2. 調査結果	
Q1. 年代について	4
Q2. 会員・性別について	4
Q3. 主たる診療科について	5
Q4. 常勤医師数について	6
Q5. 事業の承継者について	6
Q6. 承継される医師等を対象とした支援の利用をしたいと思いますか	12
Q7. 承継についてどのような支援があると良いと思うか	12
Q8. U・I・Jターンの可能性、意向確認について	13
Q9. どのような環境が整備されると長崎県で開業または勤務してもいいと思う 医師が増えると感じるか	14
3. 報告	18
4. アンケート用紙（参照）	19

1. 調査概要

U・I・Jターンを希望する医師に係る基礎調査のため、次の通りアンケートを実施した

- 目 的：
- 県外在住の医師に対してU・I・Jターンを呼びかけ、医師不足地域において診療所の開業・承継や診療所・病院に従事しようとする医師を地元市町とともに支援する
 - 長崎県の医療状況の継続的な収集による、地域医療における承継システムを構築する

調査期間：令和5年（2023年）10月～12月

調査方法：長崎県医師会事務局より会員へ送付（会報に同封）
会員は記入後、返信用封筒に入れ、県医師会へ送付

送付数：2,500件

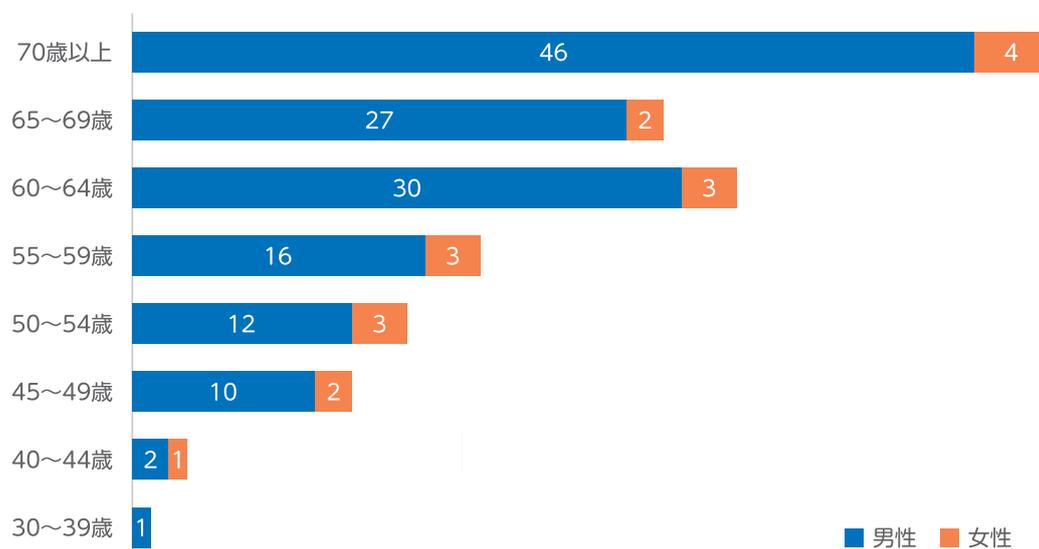
回収数：176件（回収率7%）

2. 調査結果

Q1. 年代について

	男性	女性	計
30～39歳	1	0	1
40～44歳	2	1	3
45～49歳	10	2	12
50～54歳	12	3	15
55～59歳	16	3	19
60～64歳	30	3	33
65～69歳	27	2	29
70歳以上	46	4	50
無回答			14

年代について (人数)



Q2. 会員・性別について

A会員：146名

B会員：17名

無回答：13名

注：A会員……医療施設の開設者・管理者、およびそれに準ずる会員

B会員……勤務医および大学（医育機関）医師

男性：143名

女性：20名

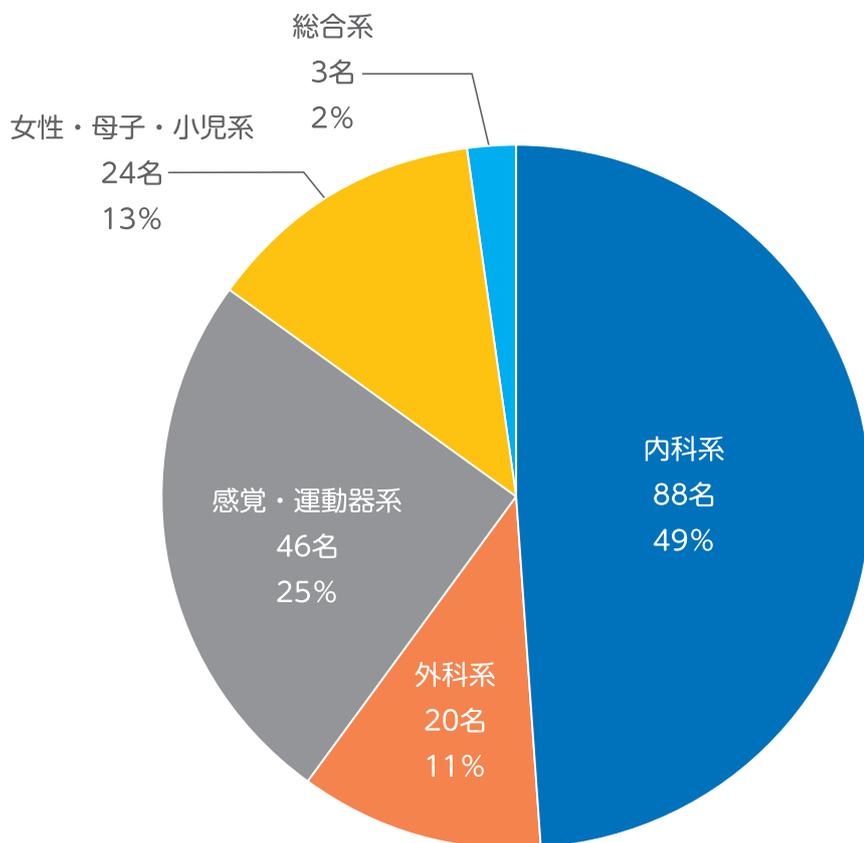
無回答：13名

会員	男性	女性	無回答	合計
A	129	17	0	146
B	7	0	10	17
無回答	7	3	3	13
合計	143	20	13	176

Q3. 主たる診療科について

【内科系】	88名 (49%)	【感覚・運動器系】	46名 (25%)
内科	72名	眼科	6名
消化器科	3名	耳鼻咽喉科	15名
消化器内科	3名	皮膚科	7名
循環器科	3名	形成外科	2名
循環器内科	2名	整形外科	15名
呼吸器科	3名	リハビリテーション科	1名
腎臓内科	1名		
胃腸科	1名		
【外科系】	20名 (11%)	【女性・母子・小児系】	24名 (13%)
外科	15名	小児科	12名
泌尿器科	3名	産婦人科	11名
脳神経外科	2名	婦人科	1名
		【総合系】	3名 (2%)
		総合診療科	1名
		精神科	1名
		漢方科	1名

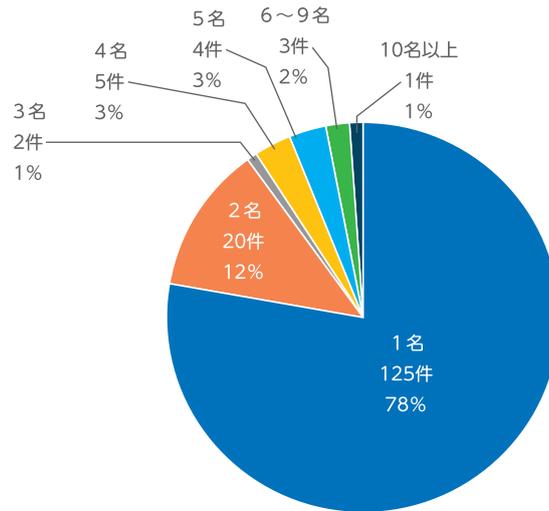
主たる診療科



常勤医師数

Q4. 常勤医師数について

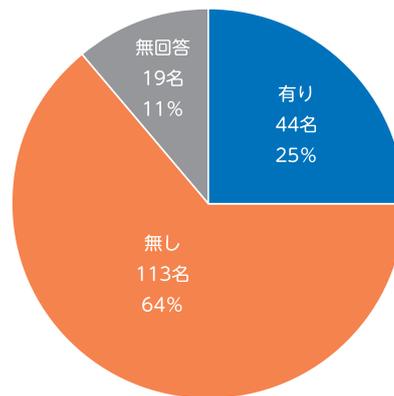
	(件)	(割合)
1名	125	78%
2名	20	12%
3名	2	1%
4名	5	3%
5名	4	3%
6～9名	3	2%
10名以上	1	1%



Q5. 事業の承継者について

	(名)	(割合)
有り	44	25%
無し	113	64%
無回答	19	11%

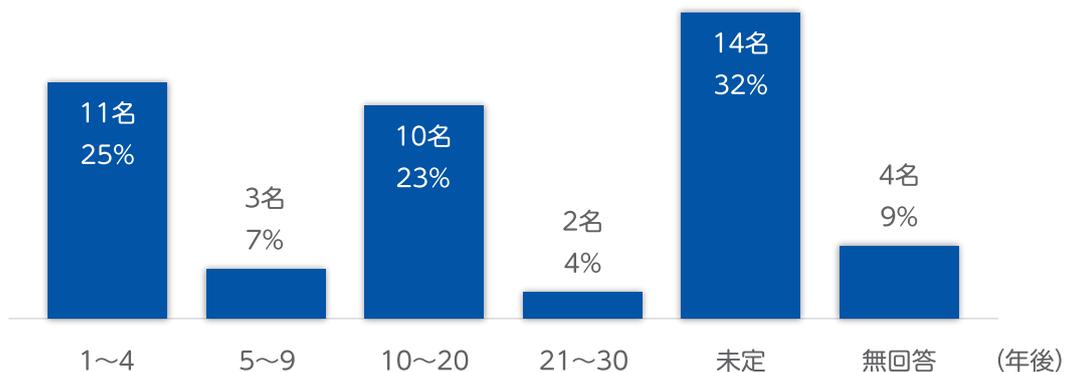
事業の承継者について



1. 有りと回答

承継予定時期 (概ねの年数)	(名)	(割合)
1～4年後	11	25%
5～9年後	3	7%
10～20年後	10	23%
21～30年後	2	4%
未定	14	32%
無回答	4	9%

有りの場合 承継予定時期



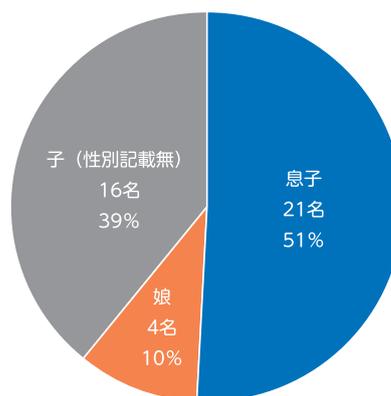
承継者の内訳

	(名)	(割合)
息子	21	51%
娘	4	10%
子（性別記載無）	16	39%

子以外：3名

(内訳：弟、同僚、無回答)

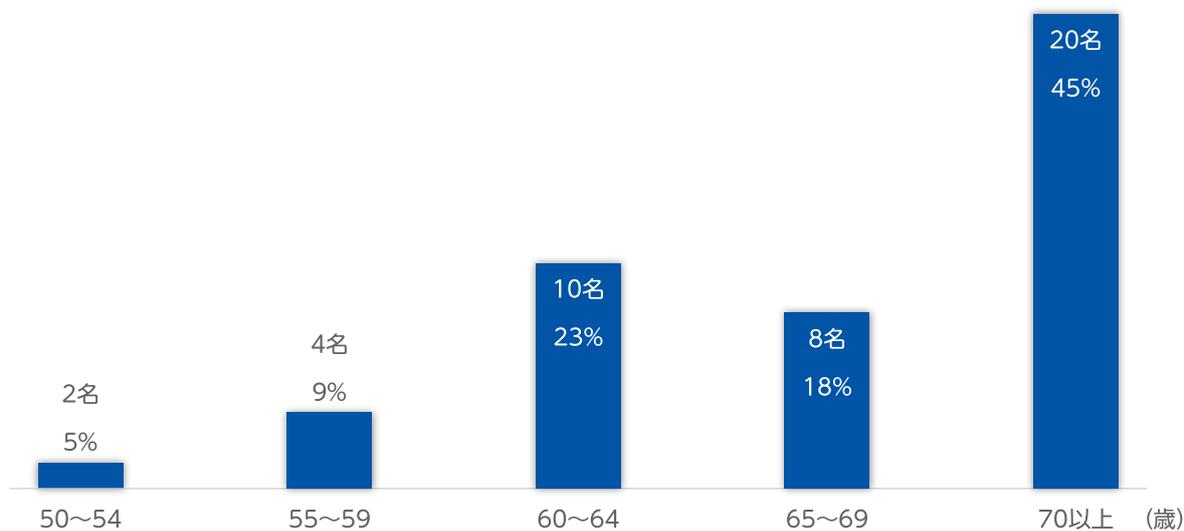
承継者（子）の内訳



承継者有りとの回答

	(名)	(割合)
30～39歳	0	0%
40～44歳	0	0%
45～49歳	0	0%
50～54歳	2	5%
55～59歳	4	9%
60～64歳	10	23%
65～69歳	8	18%
70歳以上	20	45%
計	44	100%

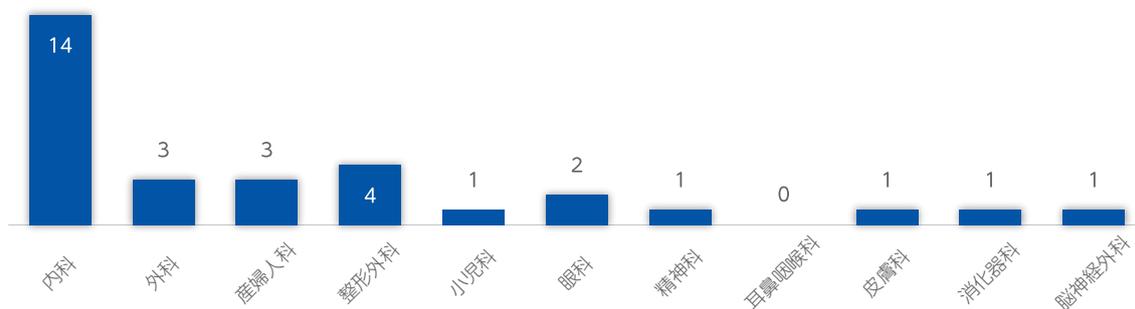
承継者有りとの回答した方の年齢分布



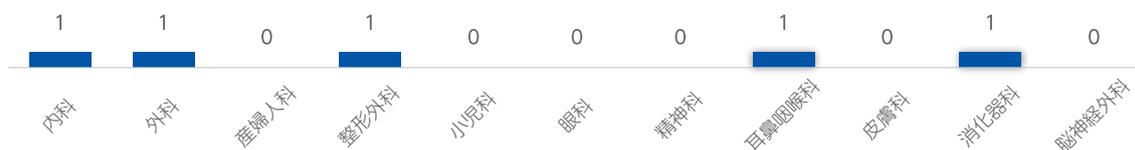
承継者有りとは回答 44 名のうち、回答して頂いた 36 名

現在と同じ診療科	件数	現在と異なる診療科	件数
内科	14	内科	1
外科	3	外科	1
産婦人科	3	産婦人科	0
整形外科	4	整形外科	1
小児科	1	小児科	0
眼科	2	眼科	0
精神科	1	精神科	0
耳鼻咽喉科	0	耳鼻咽喉科	1
皮膚科	1	皮膚科	0
消化器科	1	消化器科	1
脳神経外科	1	脳神経外科	0
計	31	計	5

現在と同じ診療科へ承継（件数）

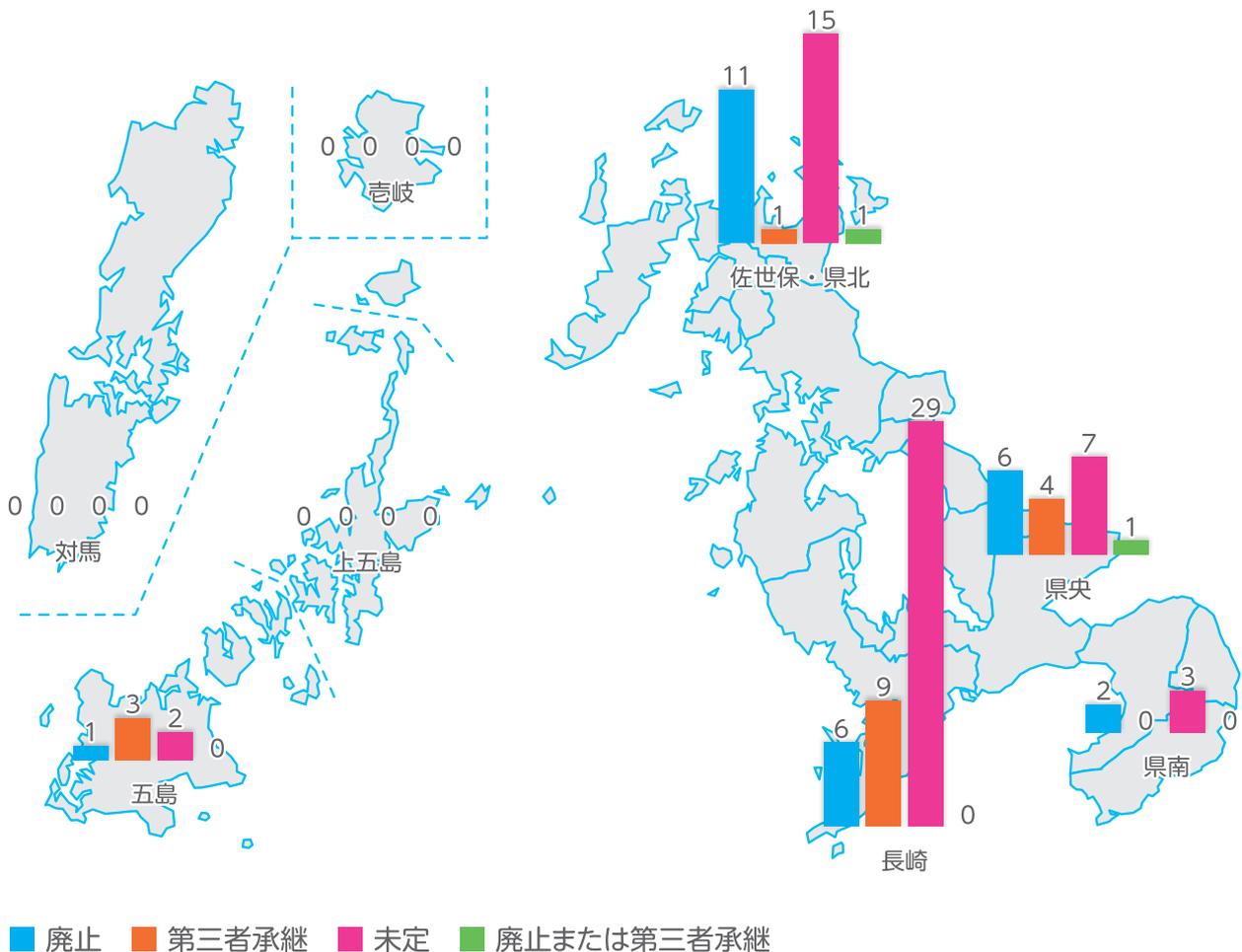


現在と異なる診療科へ承継（件数）



承継者無し地域追跡（件数）

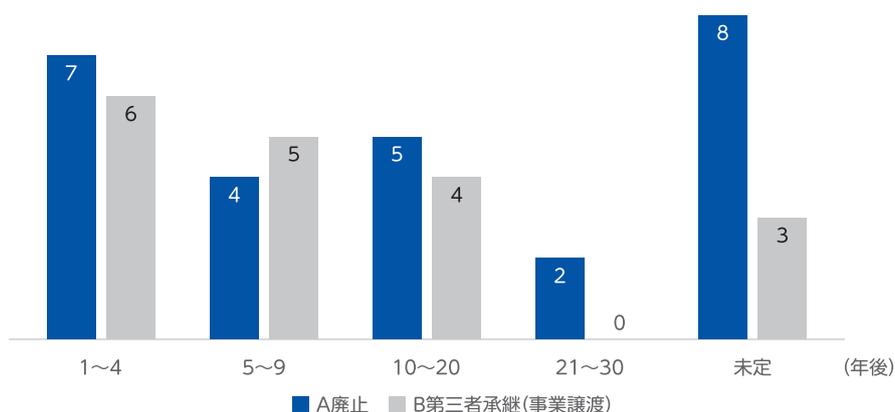
地域 (長崎県)	廃止	第三者承継	未定	廃止または 第三者承継	無回答	計
長崎	6	9	29	0	4	48
佐世保・県北	11	1	15	1	1	29
県央	6	4	7	1	2	20
県南	2	0	3	0	0	5
五島	1	3	2	0	0	6
上五島	0	0	0	0	0	0
壱岐	0	0	0	0	0	0
対馬	0	0	0	0	0	0
不明	0	1	3	0	1	5
計(%)	26(23%)	18(16%)	59(52%)	2(2%)	8(7%)	113



2. 無しと回答

承継者無しによる廃止または第三者承継時期（件数）

A廃止 (概ねの年数)	件数
1~4	7
5~9	4
10~20	5
21~30	2
未定	8
小計	26



B 第三者承継(事業譲渡) (概ねの年数)

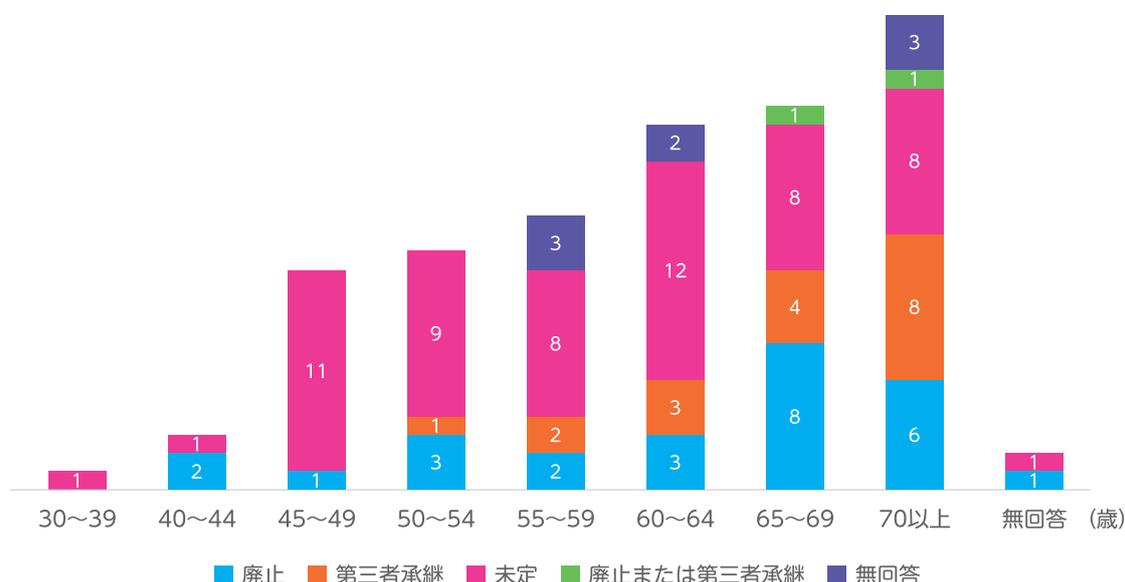
1~4	6
5~9	5
10~20	4
21~30	0
未定	3
小計	18

C未定	59
A(未定)・B(5~9)	1
A(1~4)・B(1~4)	1
無回答	8

計	113
----------	------------

年齢	廃止	第三者承継	未定	廃止または 第三者承継	無回答	計
30~39歳	0	0	1	0	0	1
40~44歳	2	0	1	0	0	3
45~49歳	1	0	11	0	0	12
50~54歳	3	1	9	0	0	13
55~59歳	2	2	8	0	3	15
60~64歳	3	3	12	0	2	20
65~69歳	8	4	8	1	0	21
70歳以上	6	8	8	1	3	26
無回答	1	0	1	0	0	2
計	26	18	59	2	8	113

事業の承継者無しと回答した方の年齢分布（件数）

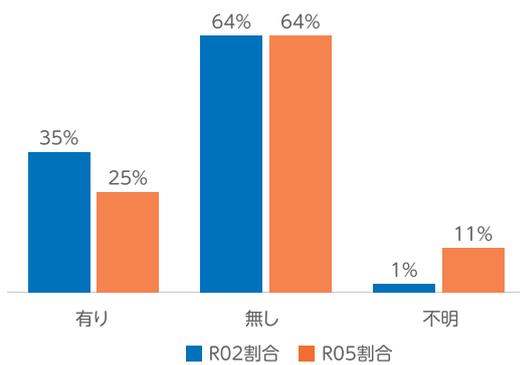


R2年とR5年比較

事業の承継者

	R02割合	R05割合
有り	35%	25%
無し	64%	64%
不明	1%	11%

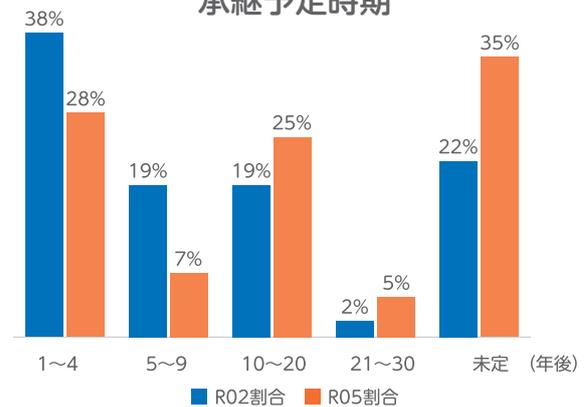
事業の承継者



承継予定時期

(年後)	R02割合	R05割合
1～4	38%	28%
5～9	19%	7%
10～20	19%	25%
21～30	2%	5%
未定	22%	35%

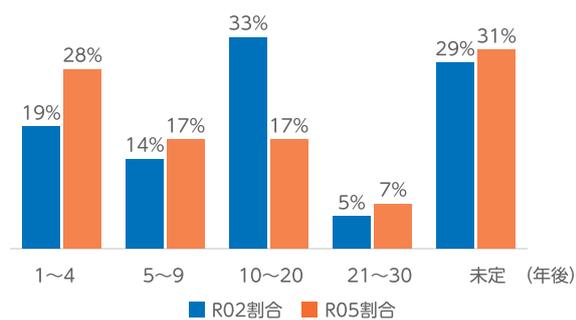
承継予定時期



A 廃止

(年後)	R02割合	R05割合
1～4	19%	28%
5～9	14%	17%
10～20	33%	17%
21～30	5%	7%
未定	29%	31%

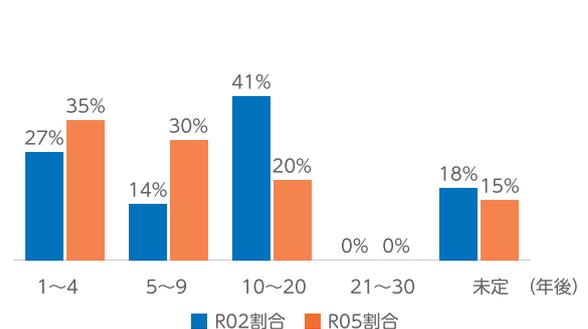
A 廃止



B 第三者承継 (事業譲渡)

(年後)	R02割合	R05割合
1～4	27%	35%
5～9	14%	30%
10～20	41%	20%
21～30	0%	0%
未定	18%	15%

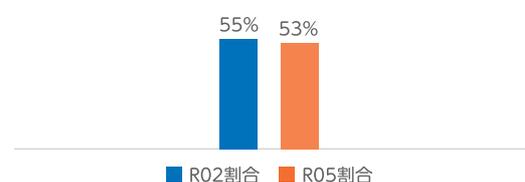
B 第三者承継 (事業譲渡)



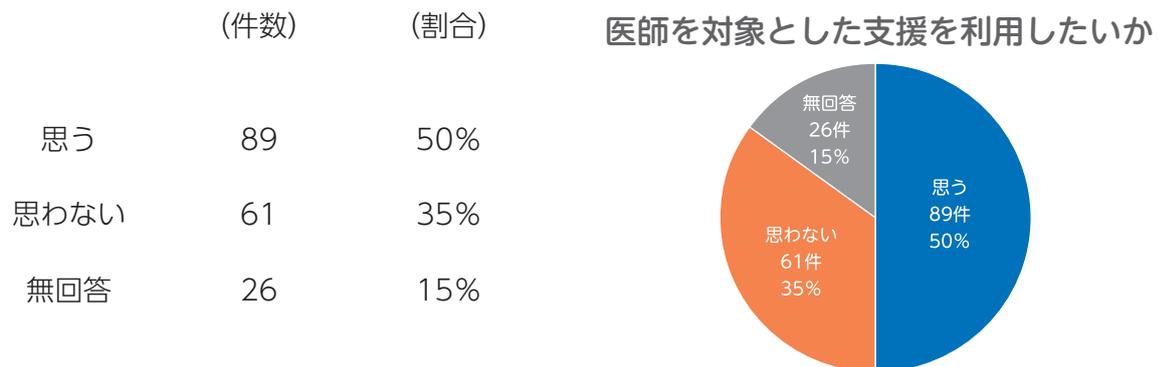
C 未定

	R02割合	R05割合
未定	55%	53%

C 未定



Q6. 承継される医師等を対象とした支援の利用をしたいと思いますか



Q7. 承継についてどのような支援があると良いと思うか（複数回答可）

	件数
1 医業承継におけるコンサルタント制度の導入	59
2 承継医師バンク制度の運用	58
3 医師会などによる承継希望者の斡旋や第三者への紹介・マッチング設定	92
4 経営戦略や補助金に関するセミナーの開催	26
5 税制優遇支援に関するセミナーの開催	23

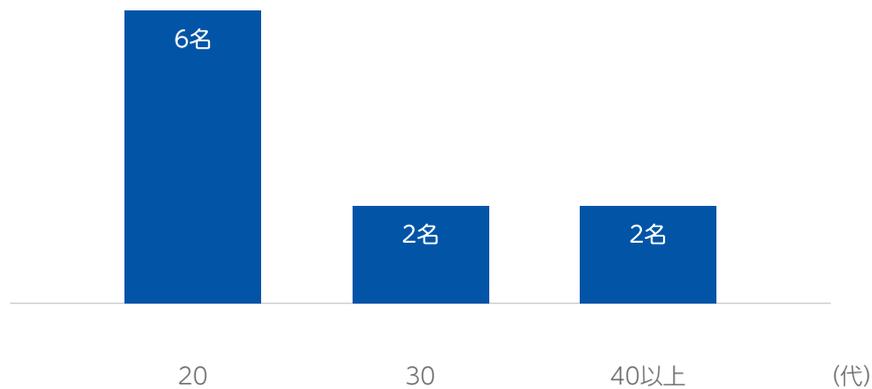
Q7. 承継についてどのような支援があると良いと思うか（自由記述）

※自由記述（個別記載）の為、掲載を控えております

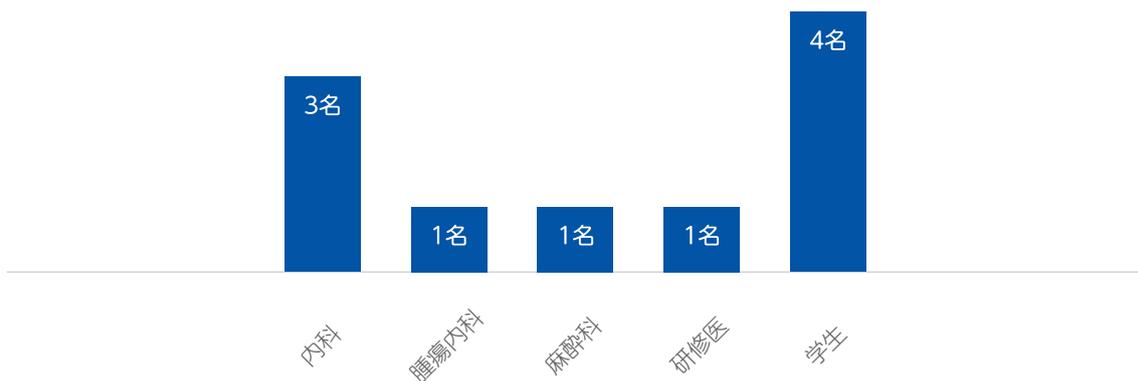
Q8. U・I・Jターンの可能性、意向確認について

被紹介者年代	人数	被紹介者の診療科	人数
10代	0	内科	3
20代	6	腫瘍内科	1
30代	2	麻酔科	1
40代以上	2	研修医	1
計	10	学生	4
		計	10

被紹介者年代



被紹介者の診療科（医学生含む）



Q9. どのような環境が整備されると長崎県で開業または勤務してもいいと思う医師が増えと感じるか（自由記述）

※自由記述（個別記載）の為、掲載を控えております

3. 報告

報 告

本アンケート調査の概要・目的は長崎県医師会員を通じてU・I・Jターンを希望する医師を探索し自治体の支援事業に繋げることである。

送付数 2,500 件に対し 176 件の回収があり回収率は7%であった。
アンケート調査には個人情報に関する内容が含まれている。

以下、アンケートの各項目について考察を含めて要点を報告する。

1. 年代：自施設の承継を検討する60歳以上の世代の会員からの回答が多かった。特に、70歳以上の割合が多かった。
2. 性別：女性医師からの回答は20名(11.4%)にとどまっていたが、前回調査と比較し、割合は増えている傾向であった。
3. 主たる診療科：内科系を中心に各診療科から意見が寄せられていた。
4. 常勤医師数：常勤医師数1-2名の施設からの回答が90%で、クリニック・診療所からの回収が主体であった。
5. 事業承継について：承継者有り44名(25%)、無し113名(64%)であった。承継者有りと回答した年代は60歳代以上が主体であったが、50歳代から事業の承継について検討している傾向がみられた。概ね現在と同じ科への承継であったが、一部異なる科への承継も検討しているという回答もあった。承継者無しと回答した割合は前回調査時(57%)よりやや増加していた。地域別の調査では前回と比較し長崎では承継未定の施設が減少し、五島地域では第三者への承継を検討している施設の割合が増えていた。しかし佐世保・県北地域をはじめ県央・島原地域においては廃止・承継未定の回答が増えていた。
6. 支援の利用希望の有無：89件(50%)で長崎県地域医療継続支援事業を利用したいとのご意見をいただき、前回調査時より利用希望は増えていた。具体的な支援内容としては承継に関する斡旋事業やコンサルタント制度の導入、医師バンク制度の運用といった支援を希望される回答が多くを占めていた。医師会だけでなく長崎県や地方自治体とも連携を取りながら承継問題に対する支援体制を構築する必要があると考えられた。
7. 医師の紹介：計10名の医師にU・I・Jターンに関する意向確認を行っても良いとの回答を得た。これらの医師に対しては紹介元の医師会員を介して、希望者には本事業の紹介を行う予定である。
8. 自由記述：多様な意見を頂いており、今後のながさき地域医療人材支援センター事業の参考とする。

4. アンケート用紙

【本アンケート調査の背景と目的】

近年、全国的に若手医師の都市部への偏在が指摘されております。本県においても、医師不足に加え、医師の高齢化も問題となっており、医師不足地域の医師確保は喫緊の課題と考えられます。

さらなる医師不足を防ぐために、本県にゆかりのある県外在住の医師にアプローチを行いU・I・Jターン就職の働きかけを行うとともに、地域医療を担う医師の確保に繋げていくことで、県民が安全かつ安心な生活を送ることができる医療体制を確保することが重要と考えられます。

ながさき地域医療人材支援センター(以下、当センター)ではこのような医師不足問題の現状を把握し解消に向けてどのように働きかけるべきか、その実態を調査する目的として、継続的に長崎県地域医療継続支援事業に関するアンケート調査を行っております。前回の令和2年度のアンケート調査では、地域医療における家族・親族への継承が難しくなっている点や、医業継承システムの構築を望む意見を多数頂きました。現在当センターではアンケート調査で収集した地域医療に関心・意向のある医師に向けて定期的に情報誌を送付するなど、医師確保に向けた活動を行っております。このようにアンケート結果を当センターの活動内容に直接反映させることができるため、長崎県の医療状況を継続的に収集することが重要であると考えています。

本アンケート調査は、県内における実態を把握し、5～10年先に医師が不足することが想定される地域・診療科については行政や大学等とも協議し、医師の確保・定着のための施策を検討することを目的に実施いたします。

長崎県医師会や当センターによる地域継続支援事業が必要と思いますか

1・思う 2・どちらとも言えない 3・思わない (いずれかを○で囲んでください)

アンケート調査に協力いただける方は、2ページ以降の回答にご協力ください。

Q8～Q9 は、A 会員・B 会員共通

Q8 現在、県外在住の医師・医学生で U・I・J ターン就職の可能性はある、もしくは U・I・J ターン就職の意向確認を行ってもよい医師を紹介ください。

* 医学部在学中の御子息、お知り合いでも構いませんので、よろしくお願いします。

1	氏名		年代	20代・30代・40代以上
	診療科		勤務先または所属医局 (在学中の場合は大学名)	
2	氏名		年代	20代・30代・40代以上
	診療科		勤務先または所属医局 (在学中の場合は大学名)	
3	氏名		年代	20代・30代・40代以上
	診療科		勤務先または所属医局 (在学中の場合は大学名)	

紹介者氏名 _____ (コンタクトを取る時にのみ利用します)

Q9 どのような環境が整備されると、長崎県で開業または勤務してもいいと思う医師が増えるとお感じになっているかお聞かせください。

※ 本アンケートは、令和5年12月20日(水)までに、同封しております返信用封筒にて長崎県医師会事務局まで御提出いただきますようお願い申し上げます。

<調査にご協力いただきありがとうございました>

ながさき地域医療人材支援センター
長崎県地域医療継続支援事業に関するアンケート調査
令和5年度 報告書

発行 令和6年3月
代表者 高山 隼人
ながさき地域医療人材支援センター
〒852-8501 長崎市坂本町1丁目7番1号
長崎大学病院 地域医療支援センター内
TEL 095-819-7346

編集担当 高山 隼人
塩田 純也
花田 康子



ながさき地域医療人材支援センター